

## 第 61 回例会（第五回福井いきいき会新年会）

実施期日：平成 30 年 1 月 25 日（木）

会場：アオッサ 3 階：ウエルアオッサ宴会場

参加者：84 名

会費：5,000 円

### 第五回新年会のプログラム

10：00 受付

10：30 記念撮影

10：45 総会 前年度の活動報告：映像と記録で綴る一年間

11：10 新年会 開会宣言

祝賀の出し物

会長挨拶

11：25 サークル活動実績披露

映像による作品披露

演技披露

12：10 開宴 開宴の余興（特技披露）

12：25 乾杯 …飲食・懇談…

13：25 宴会の余興 カラオケ（前半）

14：05 カラオケ（後半） 全体合唱

14：45 閉会の辞

### 経過

記念写真撮影の後、安本理事の進行で総会。前年度の活動報告では・新たに芸能クラブとボーリング同好会が加わりサークル数は 21 となる。・福井いきいき会のホームページを立ち上げる。・事務局が陣容を整え活動を開始する。・演芸クラブの活動盛ん。・実働会員の活動実態調査を行い会員全員のサークル別名簿作成。・おしゃべりランチと歴史同好会共同で朝倉遺跡周辺散策。・京都方面に日帰り旅行実施。・大型コピー機を設置。・全国カラオケ大会でカラオケクラブから吉岡、向川両氏が決勝選出。・台風でガラスが破損し、一時サークル活動に支障が生じたことなどを吉岡副会長がパワーポイントを使って報告した。

次いで井上、澤村両氏のもの慣れした軽快な進行で新年会に。大野実行委員長の開会宣言、祝賀の出し物として林千恵子氏による荘厳なお琴の演奏：六段の調べ：で参加者を魅了し、会長の新年の挨拶と続いた。会長はまず悪天候のなかを参加していただいた会員に謝辞を述べるとともに、一生勉強、一生感動、一生青春をキャッチコピ

一とする当会の益々の充実を誓われた。と同時に、当会が昨年度より立ち上げているホームページへの関心を要請された。

サークル活動実績披露の(1)映像による作品披露は、書道、手づくりの会、川柳芸能クラブ、歴史の会の六つのサークル活動を吉岡事務局長がパワーポイントで紹介された。(2)の演技披露は、ダンス同好会、芸能クラブ、音楽鑑賞会・合唱クラブの三つのサークルが披露。ダンス同好会はブルース、ジルバー、ルンバを、芸能クラブは幸齢者音頭を、音楽鑑賞会・合唱クラブは雪山賛歌、鯉のぼり、故郷の3曲を合唱した。音楽鑑賞会・合唱クラブはサークルが出来たばかりで、今後の活躍が期待される。

乾杯に入る前に、林豊二氏による詩吟：祝賀の詞：の朗詠。お孫さんの結婚式でも披露された思い出深い詩吟とのことで、その声の張りはとても93歳とは思えぬ素晴らしいもので満場の喝采を浴びた。次いで道浦登貴子氏による日本舞踊、寿、佐渡おけさ、河太郎の披露。氏は杵屋弥登悠の別名を持つ邦楽の先駆者で、2017年には県文化奨励賞を受賞している。その踊りは優雅そのもの。残念ながら急ごしらえの狭い舞台では危険を伴うとの判断で平面での踊りとなったが、優雅な踊りは会場を魅了した。

予定通りの進行で12:25分に濱田相談役の音頭で乾杯、会食・歓談に入った。会場担当の運営委員の世話もあって、また、飲み物も十分にあって、会員同士がお酒、ビールを注ぎ合う場面も多くみられた。ピンポンの会が企画したゲームや増永氏のユーモアな踊りも会場の笑いを誘った。

いよいよ宴会の余興・カラオケの部に入った。前半、後半に分けた出し物は以下の通りである。

#### カラオケ (前半)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| ① 昔の名前で出ています 諏訪公一 | ② おまえに 橋詰 諭、有田ツグ子 |
| ③ 東京ロマン 橋詰しげ子     | ④ 真昼の白い月 増永一夫     |
| ⑤ サムライ 新田よしえ      | ⑥ あばれ太鼓 増永雅子      |

#### カラオケ (後半)

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| ① 銀座の恋の物語 向川佐多男、宮崎照枝 |                |
| ② ブルーシャドウ 小林 博       | ③ メリージェーン 竹内 貫 |
| ④ 肱川あらし 上坂征夫         | ⑤ 炭坑節 折尾敏和他    |

出演者はさすが喉に自慢を持つ人ばかりで、熱唱を繰り広げた。炭坑節だけは数回練習もし、歌の1~5番を歌う歌手まで決めておいたにもかかわらず他の人に唄われてしまう一幕もあり、折角の替え歌の面白みを分かってもらえなかったのではないかと思うと少々残念であったが、“掘って掘って、また掘って”と踊りだすと、沢山の会員が参加してくれたのは嬉しかった。

最後に全員で‘手のひらを太陽に’‘やわら’‘いきいき会の歌’を合唱したあと、当会顧問の寺岡氏の閉会の辞があって予定通り、まったく予定通りの時間に大盛況の

うちに閉会となった。

以上 大野 勉 記